学校番号	105

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・器楽分野では、音楽基礎をさらに発展させた形でギター・キーボードを中心に学習していきます。独奏はもちろんのこと、アンサンブル・合奏に取り組み、ハーモニーの美しさを味わいます。また簡単なメロディーの伴奏・弾き歌いにチャレンジし、幼児教育・初等教育志望者に必要な力をつけていきます。
・実技課題では、個人で取り組むものの他、ペアやグループで取り組むものもあります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
創意工夫を生かした音楽表現をするための知識や技能を総合的に身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わう。

【学びに向かう力、人間性等】
進路を見据えながら主体的に音楽活動に取り組むとともに、生涯にわたって音楽を深く愛好する心情を育む。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 (知識) 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表している。 (技能)	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現(歌唱・器楽)及び鑑賞、創作の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌唱	ソルフェージュ 発声のためのエチュード アイノカタチ 春よ来い	a:自然な発声の喉の開け方、身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 b:楽曲にふさわしい発声で、どのように歌唱するか表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取学習プリント	観察 課題進度状況
	器楽	ジブリメドレー	a:ギターやキーボードの正しい奏法・身体の使い方などの技能を身に付けている。またコードネームの知識を身に付け伴奏付けしている。 b:音楽の構成を知覚し、働きを感受しながら、表現意図をもって演奏している。 c:アンサンブルが生み出すハーモニーの美しさを味わいながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況
2学期	鑑賞	ミュージカル作品	a:舞台芸術の表現上の効果と音楽の構造との関わり、ミュージカルの特徴と文化的・歴史的背景について理解している。 b:音楽の構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、鑑賞している。 c:舞台芸術の文化的・歴史的背景に関心をもち、総合芸術の特徴や魅力を味わいながら主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	観察 学習プリント	観察 課題進度状況

	歌唱	ミュージカル作品の中より	a:ミュージカルにおける歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声・言葉の発音・身体の使い方等の技能を身に付け、歌唱で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりに関心をもち、主体的・協働的に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況
3学期	鑑賞	ポピュラー音楽	a:西洋の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b:音楽の構成を知覚し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:西洋の音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び音楽表現の共通性や固有性に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	学習プリント	観察 学習プリント	観察 課題進度状況
	器楽と歌唱	卒業の曲	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な、曲にふさわしい発声・楽器の奏法や技能を身に付け、歌唱と器楽で表している。 b:音色・リズム・速度・旋律・テクスチュア・強弱・形式・構成を知覚し、演奏の仕方について表現意図をもっている。 c:曲想と声色・楽器の音色・発声法・奏法との関わりに関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 聴取	観察 聴取 学習プリント	観察 課題進度状況

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度